

概況

8月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」「業界の景況」の8指標が下降した。

主要3指標は、「売上高」が前月より21.2ポイント下降し-21.2ポイント、「収益状況」が前月より5.7ポイント下降し-19.2ポイント、「業界の景況」が前月より7.7ポイント下降し-23.1ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が低下した。「収益状況」は製造業で7業種中1業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が低下し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が低下した。

8月は、「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標がいずれも悪化している。特に、当月は記録的な猛暑が中小企業の景況感に大きく影響している。消費者の外出控えの影響を直接受けた小売業をはじめ、多くの業種で売上高が下落するなど、全体的な景況は停滞している。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	△	×	△	×
繊維・同製品	○	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	×	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	-25.0	-50.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	-100.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	-12.0	-12.0	12.0	0.0	-16.0	-4.0	-12.0	-16.0	-24.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	0.0
小売業	-85.7	-14.3	28.6	-14.3	-57.1	-42.9		0.0	-57.1
サービス業	-50.0	/	-16.7	-16.7	-50.0	-33.3		0.0	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-29.6		-10.0	3.7	-7.4	-22.2		-18.5	0.0
全体	-21.2	-11.4	7.7	-3.8	-19.2	-11.5	-12.0	-7.7	-23.1

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月 比
売上高	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-21.2
在庫数量	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-8.5
販売価格	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	-3.8
取引条件	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	0.0
収益状況	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-5.7
資金繰り	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-5.7
設備操業度	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-8.0
雇用人員	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	-1.9
業界の景況	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-7.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-75.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-75.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	-100.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0
製造業	-20.0	-16.0	0.0	0.0	-4.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		33.3	0.0
小売業	-71.4	14.3	-14.3	0.0	-14.2	0.0		14.3	14.3
サービス業	-16.7		-16.7	0.0	0.0	-33.3		0.0	-16.6
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	0.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-22.2		10.0	-7.4	0.0	-7.4		-7.4	7.4
全体	-21.2	-8.5	-3.8	0.0	-5.7	-5.7	-8.0	-1.9	-7.7

特記事項

情報連絡員報告（平成30年8月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	今年の夏の猛暑の影響か、売上の伸びが止まり、今までの余韻で8月までは何とか保たれていたようである。これからが正念場であると思われる。
和洋菓子製造業	菓子業界としては、今年の夏の猛暑による影響が大きく、業績を減少させている。
縫製業	異常な暑さの為、バーゲン後の秋物の売れ行きが悪く、追加生産がほとんどなく、活気が感じられない。
染色整理業	特段の変化はなし。7月27日付けで足利商工会議所と当組合との連名で地域商標登録の申請を行った。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	来春夏の動きに関して、最近の中では比較的好感触と捉えている経営者が多いように思える。最近是国内だけでなく海外向けのオーダーも多品種小ロットが増えており、メーカーサイドとしても遣り繰りが大変である。
一般製材業	前年対比売上高及び加工坪数共に増加した8月であった。8月は盆休みがあり、日数が少ない中、良い数字が出せた月となった。月ごとに動きが激しく、予定の立てづらい状況であるが、9月～10月位までは現状で動く予想している。
建具製造業	想像以上に動きの悪い8月であった。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	7月同様、肥料向けが増加傾向となっているが、鉄鋼は前年並み、建材関係は若干減少のため、石灰関係全般では前年並みとなった。
陶磁器製造業	猛暑が続き、観光客も減り売り上げも伸びない。
金属製品製造業	自動車部品関係、機械整備関連、工作機械関連、プレス金型関連、半導体関連いずれも横這いであった。
一般機械器具製造業	30年7月の報告は前年同月と比較し、ほぼ前年同月と同様となっているが、受注量増加傾向にある組合員企業も見受けられる。また、仕入単価も上昇傾向が継続し、懸念材料となっている。なお、相変わらず人手不足、増産対応が厳しいという報告もある。
各種商品卸売業	昨年同期と比べ不変又はやや減少としているとする企業が増えている。 ○その他の卸売業 前年同期比で売り上げ単価、商品仕入れ単価は上昇している。原油価格上昇等の仕入単価値上がり分を売り上げ単価に転嫁することが難しい。
食肉小売業	酷暑の為、家畜の育ちが悪く、出荷量が少ない。相場が高止まりで推移している。売上も、お客様が暑さのせいで買い物に出かけないので、減少している。
各種商品小売業	暑さと台風等の悪影響も含め、低調な景気の8月であった。小売は全般に悪く、一部早期の夏物セールを行った大型店が少し良かったと聞いている。
各種商品小売業	ここ数年お盆休みの大型連休が進み、夏休み期間の客数減少に歯止めがかからない。お盆前のクリアランスセール以降、中旬から下旬にかけて集客に繋がるイベント等を打ち出す必要がある。また、台風の影響も十分に考えられるため、9月も苦戦が予想される。

花・植木小売業	お盆商戦は、期間を通じて小売の売れ行きは順調であったが、猛暑と台風の影響から全国的に品薄となり、お盆前には菊類を中心に価格が高騰した。販売価格への転嫁が難しい現状で、仕入価格上昇への対策に苦慮する。 記録的な異常気象が続き、9月の敬老の日や秋の彼岸用花材で入荷量・品質等に深刻な影響が出ている。産地や市場としっかりと情報を共有しながら仕入れを考えていきたい。
理容業	全国理容生活衛生同業組合連合会より低料金店の調査依頼があり、各支部で確認したところ、思った以上に出店していることがわかった。今回の調査結果を基に、組合加入者のメリットをより深くアピールし、組合員には組合脱退防止を、未加入者には加入促進を進めていきたい。
自動車整備業	法人ユーザーリース車両の入庫増が売上増加に繋がった。また、問題点として、求人申し出がなく、人員確保に悩まされている。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関しては、ここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの7カ月間に関し少し停滞感がある。しかしながら、7月後半から8月にかけて活発になってきている。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。飲食店利用に関しては、7月上旬の梅雨明け後、激しい暑さに見舞われたため動きが非常に鈍った。8月も結果的に同様であった。
ビルメンテナンス業	特に変化はなく、ビルメンテナンス、倉庫内作業請負は引き続き減収減益傾向にある。福祉用具貸与事業の単価が下がっている。
給食センター	売上高は昨年あったスポットの売上がない為、減少となった。現状、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防火ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは47%減、敷物用ラベルは24%減、壁装用ラベルは16%減であった。 ラベルの支給（売上）金額では前年同期4月～8月累計では54%減であった。 ※平成30年4月～8月 カーテン用ラベル47%減少している。敷物用・壁装用ともに80%減少している。
一般貨物自動車運送業	燃料価格の高値推移、長時間労働是正、高速道路全線利用など経費が増加している。ドライバー不足もさらに深刻であり、労働力確保が大きな課題である。
貨物軽自動車運送業	例年通り、お盆休みがあるため、月間の3分の1は動きが鈍った。盆明けは物流も戻り、落ち着きを取り戻した。新規組合員募集の説明会に多くの参加者が訪れた（50歳代が多く、電話での問い合わせも多くなっている。）。
一般乗用旅客自動車運送業	本年8月は酷暑が続き、日中の需要は近隣では多くあったが、売上としては少しの増加であった。
大谷石採石業	前年同月比で貼石、積石とも同じで推移した。大阪での地震によるブロック塀、大谷石塀の影響はまだ出ていない。